

議案審議 で討論

定例会最終日、陳情の審査報告に対して、3名から反対及び賛成の討論がありました。その内容を要約して掲載します。

陳情第12号 日EU・EPA「大枠合意」の情報開示と「暫定発効」しないことを求める件
—不採択—

地域経済に大打撃

大浦 正志議員（日本共産党）

日EU・EPAは、はじめ、北海道、全国の農業一の作付面積の小麦や好調を基幹産業とする地方の経済に大きな影響を与え、酪農、畜産の音更町を

請願・陳情の審査結果

区分	件名	提出者	審査委員会	結果
陳情第10号	若い人にも高齢者も安心できる年金制度の実現を求める件	雄飛が丘北区1-1-198 全日本年金者組合音更支部 執行委員長 津田時彦	民生 常任委員会	不採択
陳情第11号	日EU・EPA「大枠合意」の撤回を求める意見書の提出を求める件	字豊田東1線43番地10 音更町農民組合 委員長 山川秀正	経済建設 常任委員会	取下げ
陳情第12号	日EU・EPA「大枠合意」の情報開示と「暫定発効」しないことを求める件	字豊田東1線43番地10 音更町農民組合 委員長 山川秀正	経済建設 常任委員会	不採択

反対

年金削減に反対

重堂 登議員（日本共産党）

公的年金制度は、物価スライド制等ができ、一定の改善がなされた。しかし、2004年改定からは「100年安心」をうたい文句に、年金水準を切り下げる

の、発効に向けては波乱含みの情勢である。情報開示と暫定発効をしないことを求めることは、地域経済、町民のいのちと暮らしを守る議会の役割である。

賛成

世代間の支え合い

平山 隆議員（創成会）

年金制度は、世代間の支え合いを基本として運営。マクロ経済スライドは、現在年金を受給されている世代と、将来年金を受給する世代との間で、世代間の分かち合いの仕組みであり、制度の維持には必要である。最低保障年金制度の創設は、年金を支払わなくても一定の年金水準を確保され

00万人は1か月4万円以下の生活、約6割は年金のみが生活の糧である。ここから一律に年金を引き下げることは、あってはならない。年金給付水準は維持、充実すべきである。現役世代の将来の年金制度が安心できるものとするためにも、年金削減は反対すべき。

ることになり、根本的な問題と多額の財源が課題。また、年金支給開始年齢の引き上げをしないことは理解するが、制度の維持には総合的な検討が必要であり、不採択はやむを得ない。

議案等に対する議員の賛否一覧表（賛否が分かれたものについて掲載）

○=賛成 ×=反対

音更町議会では、議員個々の考え方や活動に透明性を持たせ、町民の皆さんに周知を図るため、本会議で審議された議案等に対する賛否の状況を掲載しています。

議案等	氏名	大野晴美	方川克明	山川光雄	堀江美夫	大浦正志	神長基子	重堂登	守屋いつ子	加藤治夫	平山隆	坂本夏樹	榎本基	久野由美	松浦波雄	鴨川清助	山本忠淑	宮村哲	上野美幸	高瀬博文	佐藤和也	
陳情第10号	若い人にも高齢者も安心できる年金制度の実現を求める件	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-
陳情第12号	日EU・EPA「大枠合意」の情報開示と「暫定発効」しないことを求める件	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-

※議長は表決に参加しないため空欄